

## 第20回記念大会 米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in 飛騨 飛騨地域実行委員会



委員長  
JAひだ  
代表理事組合長  
駒屋 廣行



副委員長  
高山市長  
國島 芳明



副委員長  
飛騨市長  
都竹 淳也



副委員長  
下呂市長  
服部 秀洋



副委員長  
白川村長  
成原 茂

飛騨地域実行委員会よりごあいさつ申し上げます。

今大会は、岐阜県飛騨地域の3市1村とJAが広域的な連携体制を構築し、さらに生産組織・関係団体が一丸となって開催地実行委員会を組織。当コンクールの記念すべき第20回大会の喜びを皆様に実感いただけるよう、準備を進めてまいりました。

ところが、「平成30年7月豪雨」は、全国各地に甚大な被害をもたらし、尊い人命と財産を奪うと共に、稲作をはじめ農業分野にも多くの災害をもたらしました。

被災地におかれましては、一刻も早い災害からの復旧と、今後の天候が安定して稲の作況が回復しますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、本年は半世紀に及ぶ米政策が大きく見直されましたが、その間の歴史は、米の国内消費減退と米価下落、深刻化する気象変動や繰り返される気象災害など、常に苦難との戦いを強いられた半世紀でもありました。

この大会に参加される皆様は、そうした状況下にあってもお米づくりへの情熱を駆り立て、共に歩んでこられた同志の方々ですが、そこには「ふるさとへの愛着、地域のお米に対するプライド」と言う共通の信念があったのではないのでしょうか。

今大会のテーマ「ふるさとのお米、その一粒のために」は、そうした信念に基づくこれまでの苦勞と成果を共に認め合い、明日につながる希望あふれる大会にしたいとの願いを込めたものです。

全国有数の観光地でもある飛騨へ、より多くの皆様にご来場頂きますよう、心よりお待ちしております。

### 飛騨地域実行委員会

JAひだ、高山市、飛騨市、下呂市、白川村、JAひだ稲作協議会 飛騨高山おいしいお米プロジェクト、飛騨地域農業委員会、飛騨地域農業改良組合 JA全農岐阜、飛騨農業振興会、飛騨農業共済事務組合

## 国際名稲会（ダイヤモンド褒賞）会員

国際名稲会（ダイヤモンド褒賞）とは、過去の米・食味分析鑑定コンクールにおいて、連続5回以上の入賞と総合部門で3回以上の金賞の榮譽に輝いた生産者が生涯使用出来る名称です。



石井 稔  
宮城県



桑原 健太郎  
新潟県



遠藤 五一  
山形県



笠原 勝彦  
新潟県



古川 勝幸  
福島県



和仁 松男  
岐阜県



高橋 義三  
長野県